

議会だより

福島県中島村議会



<中島村成人式 令和2年1月11日>

- ◇ 第4回定例会 令和元年度補正予算 2
- ◇ 承認 条例 人事案件 3
- ◇ 村長行政報告 4
- ◇ 一般質問 5~10
- ◇ 委員会報告 11
- ◇ 議会の行事 12~13
- ◇ 議会のうごき 14



なかじまちゃん

第4回議会定例会

一般会計補正予算

375,787千円増額を議決



第4回議会定例会は、12月6日から11日までの6日間で開催しました。

今定例会は、承認2件、条例の一部改正7件、補正予算8件が村長から提出され、審議の結果原案のとおり可決されました。また人事案件1件が村長から、陳情の採択に伴う意見書の発案1件が総務教育常任委員会委員長から追加提案され、原案のとおり可決されました。

一般質問では、6名の議員が登壇し、台風19号の被害状況及びその対応、国民健康保険の利用状況、村内の農道整備状況、水道施設管理など村の考えを問いました。

○会計別補正予算

単位：千円

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	3,695,496	375,787	4,071,283
国民健康保険特会	556,354	55,282	611,636
簡易水道特会	197,800	-63	197,737
土地造成事業特会	64,319	0	64,319
農業集落排水処理事業特会	259,115	18,742	277,857
墓地特会	4,640	1,115	5,755
介護保険特会	491,842	24	491,866
後期高齢者医療特会	43,473	196	43,669
合計	5,313,039	451,083	5,764,122

令和元年度 一般会計補正予算

一般会計補正予算は、3億7579万円を追加補正し、予算総額40億7128万円を原案のとおり可決しました。

歳入の主なものは、県支出金2億9319万円、繰入金2788万円、村債3790万円を増額補正しました。

費2080万円、農林水産業費7914万円、災害復旧費2億5319万円を増額補正しました。

増額 1864万円

衛生費（塵芥処理費）稲わら等処分事業委託・台風19号災

7964万円

農業費（農業災害対策費）被災農業者支援型補助金 2億5319万円

災害復旧費（農業施設災害復旧費）委託料、工事請負費

令和元年度 特別会計補正予算

特別会計補正予算は、7会計中1会計が減額補正、1会計が財源内訳の変更、5会計は増額補正をそれぞれ原案のとおり可決しました。

主なものとして、国民健康保険特別会計で予備費に5520万円の増額、農業集落排水処理事業特別会計では、台風による集排施設補修工事に2000万円の増額補正をしました。

承認された専決処分

◇一般会計補正予算

一般会計補正予算については、農林水産業費と災害復旧費に総額2833万円を増額補正

審議結果 原案承認

◇農業集落排水処理事業特別会計補正予算

農業集落排水処理事業特別会計補正予算については、施設災害復旧費に268万円を増額補正

審議結果 原案承認

これらについては、台風19号の災害復旧を早期に進めていくため、補正予算を専決処分において予算措置された

議決された条例

◇職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部改正並びに、人事院及び福島県人事委員会勧告に伴い、本村条例についての所要の改正

審議結果 原案可決

◇会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の制定に伴い、本村においても新たに条例の制定を行う

審議結果 原案可決

◇職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部改正に伴い、本村条例についての所要の改正

審議結果 原案可決

◇中島村森林環境譲与税基金条例

森林環境税、森林環境譲与税の施行に伴い、本村森林整備等の財源に充てるため、新たに条例の制定を行う

審議結果 原案可決

◇中島村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法の一部改正する法律の施行に伴い、運営等の基準について、本条例についての所要の改正

審議結果 原案可決

◇中島村分担金徴収条例の一部を改正する条例

本条例において分担金の減免の規程を設けるための所要の改正

審議結果 原案可決

◇中島村公民館条例の一部を改正する条例

中島村条例の会計年度任用職員の条例の制定を受け、非常勤の公民館長及び職員の任期についての所要の改正

審議結果 原案可決

人事案件

△敬称略▽

◎同意した人事

◇中島村教育委員会委員の任命

前水野谷剛夫委員の任期満了に伴い、新たに教育委員が任命された



氏名 小室隆一
(代 畑)

村長行政報告

イナナムセカンダリースクール

生徒歓迎会

10月17日から21日には、国際交流事業の一環として、イナナムセカンダリースクールから生徒3名と日本語の先生1名を中島村に招待し、中学校のききょう祭やホームステイ、歓迎イベント等を通してグローバルな交流が図られました。中島の3年生は、マレーシア修学旅行で交流を図った友との再会を喜び、2年生は来年度の修学旅行での再会を誓い合っていました。



なかじま輝ら×2秋祭り

11月2日爽やかな秋晴れの下、改善センター駐車場において2019なかじま輝ら×2秋祭りが開催されました。ステージショーでは、和太鼓やスパリゾートハワイアンズのフラダンスショー、学生サンバ連合による「サンバカーニバル」、更に熊本県営業部長こと「くまモン」も来村し、盛況な祭りとなりました。

台風19号の被災により一時中止との意見もありましたが、村民の皆様が元気になっていただきたい、また、元気な中島村を発信したいとの思いと、実行委員会の努力もあり、開催の運びとなり、昨年より来場者も増え大変盛り上がったイベントとなりました。



第31回ふくしま駅伝

11月17日には31回目となるふくしま駅伝が開催され、16区間のコースを各選手が力走いたしました。結果は、5時間37分36秒で総合22位、村の部では昨年と同じ4位でしたが、3位との差が僅差の1秒と大接戦でした。選手全員が見事な走りを見せ、中島村を大いにアピールすることが出来ました。報告会では、1秒差の悔しさをエネルギーに、早くも来年に向け村の部優勝を誓い合っていました。



各種事業の進捗状況

道路改良事業の御蔵場本法寺裏線、二ツ山入江線については工事を発注、滑津後山線については準備が整い次第発注の予定です。原山地区宅地分譲造成工事は、完成に向け順調に推移しています。給食センターについては、旧幼稚園遊戯室解体工事を発注し、実施設計も年度内完了の予定となっています。



小室辰雄 議員

問

台風19号による被災状況及び 災害時の対応について

答

災害からの復旧・復興に全力で 取り組んでいく

問

台風19号による被災状況及び

災害時の対応について
①被災状況、②被災住宅の復旧復興、③中島村地域防災計画の機能状況、④災害時の消防団の指揮命令、⑤消防団の安全対策など災害時の対応について伺いたい。

答

村長

①本村の被災状況については、2日間の総雨量が288mm、20時には1時間最大雨量34mmを記録しました。住宅被害は、浦原・滑津原・代畑・松崎地区で、床上浸水8世帯10棟、床下浸水3世帯3棟の被害がありました。一時冠水面積は約190ha、農業施設栽培被害面積約61a、道路法面・農地等被害74箇所、一時冠水等による通行止め路線は、県道を含め16路線、農業生産関

連、農地・農道関連、廃棄物関連、公共施設など、総額約4億2011万円の被害となっています。

②被災住宅の復旧復興については、床上・床下浸水被害を受けた方々からの災害廃棄物の対応について、広域圏との調整により10月14日からクリーンセンターへの直接搬入できる体制をとり、その後代畑地区に仮置場を開設し、搬入を希望する方と連絡調整しながら受け入れを行いました。また、被災世帯を調査し、罹災証明書等を発行できる体制をとり、各種支援制度についても、対象の有無、上限、対象基準等手続きの方法について被災者の方々へ説明しながら業務を進めており、また、被災世帯に対する固定資産税の減免、国保他の負担軽減など、対象となる世帯や個人へ手

続きの案内を行っています。

③地域防災計画の機能状況については、大雨警報発令と同時に災害対策本部を立ち上げ、その後全職員を非常招集するとともに、各消防団に屯所での待機指示をしました。また、関係各課において、非常時の対応、被害調査、応急復旧、各種協力機関・事業所との連絡調整、翌日以降の防疫消毒など防災計画事務分掌により対応にあたりました。

団員へ警戒体制及び各屯所待機を指示した。現地での土嚢設置や交通誘導など、本部・現地幹部等の指揮により対応にあたりました。

⑤消防団員の安全対策については、中島村水防計画書総則の3、安全配慮に「水防団自身の安全確保に留意して水防活動を実施するものとする」、「避難誘導や水防作業の際

も、水防団自身の安全を確保しなければならぬ」、「指揮者は、活動中の不測の事態に備え、退避方法、退避場所、退避を指示する合図等を事前に徹底する」等、8項目が示されており、今回の出勤にあたり、本団幹部は各部長へ、団員自身の安全確保を指示している。



一般質問



小松公雄 議員

問

国民健康保険を一年間一度も使用しなかった人への報償制度新設について

答

健康維持増進に努めていただくためにも、検討していきたい

問

村は、集団検診や輝らフィット

トなど村民の健康維持増進の為に様々な施策を実施していますが、一方で国民健康保険の負担額が増加しているのも事実です。そこで、1年間に一度も国民健康保険を使用しなかった人を対象に、健康管理に敬意を払い維持して頂く為に報奨制度を新設してどうか、その際中島村商工会の金券を差し上げ、村内で利用して頂くようにしてはどうか、村長の考えを伺いたい。

答

村長

本村の国民健康保険に加入している皆様が健康維持に努め、元気に仕事や生活ができることは素晴らしい事だと思います。

しかし、病気やケガで治療が必要となり、その医療負担を皆で助

一般質問

け合つのが国民皆保険制度であり、国民健康保険です。

国民健康保険の保険料は、社会保険制度の改正により短時間労働者が社会保険に加入したこと、少子化が要因となり被保険者数が減少している反面、医療行為の高度化等により医療費の増加により

年々増加傾向にあります。

このような中、国民健康保険の被保険者が、適度な運動や食生活に注意するなど健康管理に努めている方は、国民健康保険の利用がななく医療費の抑制に大変貢献いただいております。これらの方々に敬意



を表し、健康維持増進に努めていただくためにも、報奨制度は有効な方法の一つと考えられますが、その中身については、どのような方法が良いか検討していきたいと思えます。

先ほど小松議員から商工会の金券を配付してはどうか、という提

案もありましたが、この金券について商工会が扱っているのかについても、今後確認していきたいと思えます。

引き続き国民健康保険料の負担軽減のため、後期高齢、介護保険等が連携し健康増進事業を推進していきます。



小室重克 議員

問 安全な村づくりを目指すため

答 今回の台風の教訓を踏まえ、 多様な観点から検討していく

問

台風19号は、東日本の広範囲に大雨を降らせ、大きな爪痕を残し、水の恐ろしさ、早めの災害対応を強く感じました。

そこで一議員として感じたこと①代畑地区の治水対策、②被災者支援制度の新設、③代畑屯所の浸水対策及び代畑避難所新設、④防災訓練（水防訓練・避難訓練等）の実施、⑤企業誘致の推進等について、村長の見解を伺います。

答

村長

①代畑地区の治水対策については、近年、記録的な豪雨が全国各地で頻発し、河川の氾濫や住宅地の冠水が発生しており、当地方においても発生する可能性が十分あり得ると考えます。台風19号の対応を踏まえ、大雨警戒態勢と同時に大型排水

ポンプ設置体制が速やかに取れるよう検討していきます。また、土嚢についても大変重要なものと認識しており、事前に必要な場所にストックするなど準備体制を整えていきます。阿武隈川の河川改修については、以前より国・県に要望していますが、泉川の堤体かさ上げを含め、引き続き強く要望していきます。

②被災者支援制度の新設については、家が被災した方への支援制度として、国の被災者生活再建支援制度、県の住宅応急修理制度等があり、県ではさらに床上浸水以上の世帯に対し特別給付金を支給する方針が、新聞等に発表されています。本村では、災害見舞金支給要綱に基づき、被害程度に応じた見舞金を支給します。このように国・県・村で三つの制度があり、新たな支援制度については、今のところ予定していません。農業施設については、国と県の二つの支援制度を活用し、復旧、修繕、撤去等の対応が可能です。農産物の補償については、支援制度が無く、任意に加入する保険等での対応となりますので、ご理解をお願いします。



③代畑屯所浸水対策及び代畑避難所新設については、被害を受けた状況や福島県で作成中の阿武隈川流域ハザードマップの浸水想定エリアを加味しながら検討していきます。

④防災訓練（水防訓練、避難訓練等）の実施については、この度の水害を経験すると、日頃からの訓練は非常に大事であると考えます。これまでは一般住民の方が参加する避難訓練や水防訓練は実施していませんでしたが、

県南地方防災訓練では村内全行政区にも参加を頂き訓練を実施しました。このように行政区にも協力を得ながら、水防訓練、防災無線を使用した訓練等の実施を検討していきます。

⑤企業誘致の推進ですが、村内進出企業をはじめ、進出関連企業

を対象にPRするなど、企業誘致を図っています。また、首都圏において開催される企業立地セミナーでも、風水害に強い村を強調し、地理的条件や交通網の優位な点を前面に、企業誘致に繋がるよう紹介をしていきます。

一般質問



小林 均 議員

問

台風19号による水田の稲わら被害や災害復旧工事の状況

答

来春の営農再開に向け進めていきます

問

台風19号における水田のわら被害について、①水田のわら被害の件数、被害申請者の件数、②これらに対する救済措置はどうか、③発生箇所また、災害復旧工事については、④復旧工事の見通しは何時ごろになるのか伺いたい。

答

村長

①水田の稲わら被害について、11月13日稲わら撤去希望者を取りまとめたところ、44筆、23名の方から申し込みがあった。

②稲わら被害の救済措置については、農林水産省・環境省の支援事業で、農林水産関係被害に対する支援対策が進められています。圃場に堆積した稲わらの撤去・運搬作業は、農業生産関係団体のJA夢みなみが事

一般質問

業主体となり、現在作業準備に入っています。村では、稲わら撤去希望者名簿や撤去圃場図面を作成するとともに、撤去する稲わら集積箇所の確保や、集積箇所の代表地権者への説明等を行い、了解を得ています。被害にあった方々が、営農意欲を失わず、一日でも早く営農再開できるよう水田の復旧に向けた対策を進めていきます。

③台風19号の災害復

旧工事については、小さな被害箇所も含め74カ所、被害額約2億6394万円です。被害内容は、水田の法面・畦畔崩落が8カ所、水路の土砂による閉塞、法面崩落が35カ所、農道の法面崩落、路面洗掘が22カ所、畑については法面崩落が5カ所、農地施設関係で、四ヶ村堰、大欠堰の頭首工が2カ所、農業集落排水処理施設が2カ所です。



④災害復旧の進捗状況ですが、国の災害査定が必要な箇所が15件、村単独で復旧する箇所が38件を予定しています。工事箇所の統合等を行ったため、被害箇所より少なくなっています。国が定める災害復旧事業の基準が1カ所あたり40万円以上の被害額となっております。

国による1次査定が12月2日から始まり七次査定まで行われる予定です。本村は1次査定に5件を申請しています。災害復旧工事を実施した場合の完了予定ですが、来春の営農再開に向け災害復旧工事を進めていきたいと考えています。



木村秋夫 議員

問

村内農道整備の状況と 進め方について

答

農道の状況や財政状況により、
優先順位を検討し進める

問

村内の農道整備について、農道に対する舗装率ほどの程度か、また、農道整備事業等において今後どのように進めていくか考えを聞きたい。

答

村長

本村の農道整備は、昭和35年農業構造改善事業を皮切りに農村総合整備モデル事業を実施し、農道整備が行われてきました。

農道に対する舗装率ですが、阿武隈川水系の圃場、川原田から畑までの範囲内の農道で、農道延長54・8km、うち舗装延長31・9km、未舗装延長22・9km、舗装率にして58・2%です。

また、泉川水系の圃場や松崎地区の未舗装農道を併せると30kmを超える農道が舗装されていない状況です。農道整備事業として、

農水省の国庫補助事業と総務省の公共施設等適正管理推進事業債を利用した起債事業があります。未舗装箇所全てを実施するには、財源と時間が必要となってくるので、優先順位を関係部署と協議し、どの事

業で実施するのが村財政に有利なのかを見極めながら農道整備を進めていきます。また、11月末に、福島県選出国會議員に農道整備についての要望活動を行ったところで



一般質問



椎名康夫 議員

問

簡易水道施設の緊急時の 第3水源の供給量について

答

現在も稼働しており、当面は問題ないと考える

問

去る10月12日
から13日にかけての台風19号における国内の被害は甚大なものでした。その後の復旧は困難を極め現在も続いています。特に災害時の飲料水等の確保は最重要課題でした。

①村では、独自の第3水源を持っているが、緊急時の供給量はどの位か、②また、自家用井戸を持っている家庭もあるが、災害時に共助の意味から有効利用できないか、またその家庭の数を把握しているか伺いたい。

答

村長

①簡易水道施設の第3水源ですが、平成2年に簡易水道2次拡張工事において、現在の町畑地区に深井戸を新設しました。

この施設の計画1日最大取水量は、2500m³です。現在、白河

一般質問

地方広域市町村圏整備組合からの1日責任水量として1600m³の供給があり、責任水量以上の給水利用がある場合、自動運転により第3水源から取水し浄水場で水処理を行っています。

平成30年度の配水量データを見ると、1日最大2049m³の配水量があり、この配水量データと比較しても、第3水源の取水量は十分な容量がある

ことから、白河地方広域市町村圏整備組合からの供給が一時停止した場合でも支障がないと考えます。

また、何日分の供給が可能かとの質問ですが、平成13年4月白河地方広域市町村圏整備組合から供給が開始されるまでの間、毎日取水を行い水道利用者に供給してきたところで

なお、現在も簡易水道施設の自動運転によ



第3水源（町畑）



り水処理を行っており、ひと月あたり約1万m³を汲み上げているので、当面問題はないものと考えます。

②次に井戸水の共助ですが、11月1日現在井戸水のみを利用している世帯数は67世帯と思われま。これは、水道料金の算定がされていない世帯数です。また、簡易水道と井戸水を併用している世帯もあることから、井

戸の総数までは把握していません。

次に災害時における共助ですが、個人所有であること、水質検査等を適正に実施し管理されているかなど問題点があるものと考えます。

このようなことから、井戸水の共助は村主導で行うのではなく、それぞれ個人同士で行っていただきたいと思っています。

委員会報告

議会運営 委員会

委員長 木村秋夫
副委員長 小林 均
委員 小室辰雄
委員 小松公雄

議会運営委員会は、11月29日に委員会を開催し第4回議会定例会の運営について、協議しました。

・提出議案について

総務課長より、第4回議会定例会に提出予定案件の概要説明を受け、今議会で審議することと決しました。

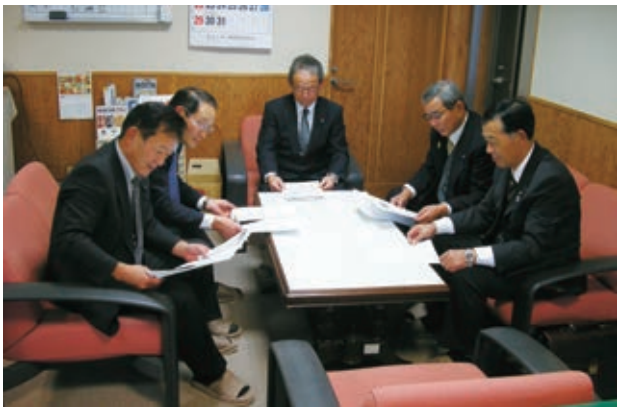
・会期及び日程に ついて

会期は、12月6日より12月11日までの6日間としました。

総務教育 常任委員会

委員長 小林 均
副委員長 小室重克
委員 椎名康夫
委員 木村秋夫

総務教育委員会は、付託のあった陳情1件について、12月6日に委員会を開催し、その



総務教育常任委員会

内容について審査しました。

◇看護師と介護従事者の特定最賃新設を求める陳情について
看護師・介護従事者の処遇改善で人材を確保し、安全・安心の医療・介護体制の構築が必要であることから、審査結果は、願意妥当との意見の一致を見、「採択」すべきものと決しました。

議会広報 編集委員会

委員長 小松公雄
副委員長 椎名康夫
委員 菅野 昇
委員 小室重克

議会広報編集委員会は、1月31日に委員会を開催し、議会だより2月号の編集業務を行いました。



議会広報編集委員会

鈴木新平前議員 中島村特別功勞表彰

令和2年1月11日中島村表彰式において、鈴木新平前議員が、中島村特別功勞表彰を受賞されました。

この表彰は、本村議会議員の職にあつて12年以上在籍し、特に功績顕著な方に贈られたものです。令和2年度新年祝賀会に先立ち、表彰式が行われました。



議員行政視察研修

■備えの大切さを実感

議会議員による行政視察研修を村長参加のもと12月17日から19日まで、防災先進地である静岡県及び関係市町村の取り組み状況を調査研究し、本村の防災体制の充実を図るため、静岡県南伊豆町及び下田市を視察研修しました。

下田市にある賀茂地域局危機管理庁舎は静岡県の施設であり、賀茂地域1市5町の防災対策の中枢を担っている。以前の庁舎の場所は、第



加茂地域局



加茂地域局

4次地震想定レベル2の津波浸水地域にあったことから、浸水想定区域外の高台に移転され、現在この地域の防災の拠点となっている。

南伊豆町については、人口約8千3百人、世帯数約3千9百世帯の町で、その中の三坂地区に平成29年3月に指定避難所を建設し、供用されている防災センター（355㎡）と、防災備蓄倉庫（184㎡）を一体として整備され、太陽光を活用した照明や、停電時電源切り替えシステム、各トイレにシャワー室を完備するなど、災害時の避難生活に役立つ工夫がなされています。



防災センター



防災備蓄倉庫



南伊豆町

中島村成人式

65人が新成人に

令和2年1月11日令和初となる中島村成人式が、生涯学習センター「輝ら里」において挙行されました。

平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた65人の新成人の方々が、大人の自覚を胸に新たな一歩を踏み出しました。皆様のご活躍をお祈りいたします。



町村議会議員研修会

町村議会の現状と課題

令和2年1月27日郡山市「ビックパレットふくしま」において、町村議会議員研修会が開催され、議員全員で参加してきました。

研修会は、町村議会の現状と課題、町村議員の役割と議員定数、議員報酬のあり方と題し明治大学教授の牛山久仁彦氏の講演がありました。議員のなり手不足や議会の活性化など、住民に身近な議会を構築することが必要であるなどの講演であり、有意義な研修会となりました。



議 会 の う ご き		
11 月	1日	議会広報編集委員会
	2日	なかじま輝ら×2（きらきら）秋祭り
	4日	マレーシアフェア2019視察研修 （東京都）
	7日	第31回ふくしま駅伝競走大会 中島チーム選手壮行会
	13～14日	創立70周年記念第63回町村議長全国 大会（東京都）
	17日	市町村対抗福島縦断駅伝
	23日	令和元年度中島村芸能発表会
	26日	中島村消防団新幹部歓迎会
	28日	中島駐在所連絡協議会
	29日	議会運営委員会
12 月	30日	こどもの国の発表会（幼稚園）
	5日	圏域市町村長・代表議長会議 （白河市）
	6～11日	令和元年度第4回議会定例会
	6日	総務教育常任委員会
	7日	川原田「収穫祭（新そば祭り）」
	12日	中島村商工会企業連絡協議会
	17～19日	議会議員行政視察研修（静岡県）
1 月	21日	保育所・クリスマス発表会
	25日	令和元年第4回広域圏組合議会定例会 （白河市）
	7日	町村長・町村議会議長会議（白河市）
	9日	年始知事懇談会（福島市）
	11日	中島村成人式
	12日	消防団出初式・安全祈願祭・中島村表 彰式・新年祝賀会
	17日	町村議議会 理事・監事合同会議 （福島市）
	24日	中島村商工会新年会員の集い
	26日	東京なかじま会総会（東京都）
	27日	町村議会議員研修会（郡山市）
28～29日	議会議員研修会（東京都）	
31日	議会広報編集委員会	



中島村成人式



消防団出初式



安全祈願祭



東京なかじま会総会

発行 中 島 村 議 会

〒961-0192 福島県中島村大字滑津字中島西11-1
電話 0248-52-3486 FAX 0248-52-2449

中島村



検索

中島村→村議会

村のホームページから村議会情報を見ることができます